

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	市民協働型地場産業活性化事業 「新たな公+新たなマーケティング」による地域資源を活用した活性化活動モデル
対象地域	愛知県蒲郡市三谷町
対象地域の概要	 【位置図】愛知県蒲郡市  【三谷漁港】昭和58年に現在の荷さばき所が完成 昭和50年前半をピークに漁船が減少。現在2隻  【三谷温泉街】 三谷町の産業を支える温泉街。 10年前までは利用客は横ばいだったものの現在は減少が続いている。温泉利用客のみならず周辺の観光施設も利用客が減少している。
提案内容の概要	地場産業のソーシャルマーケティングという新しいマーケティング手法を用いて、住民(主婦及び子ども)が受け入れやすいように働きかける。意識調査から地場産業の魅力を探り、商品開発やイベントを企画することで、地場産業や地域に対する愛着や思い入れを高め、 <u>そこに住みたいという魅力のブランドを作り上げ、地場産業から地域活性、産業活性という新たな流れを構築したい</u> と思います。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	85年度末をピークに人口の減少が進んでいることが問題でしたが、昨年度末(平成20年度)に21年ぶりに減少していた人口が増加に転じました。その理由として、ラグーナ蒲郡関連のマンションや企業誘致の影響が大きいと思います。人口の増加がある反面、地場産業である漁業も平成12年の就業者数252人から平成17年の198人に5年間で54人減少していることから第1次産業の高齢化、担い手不足、若者不足が課題となります。 また、新しい土地からの流動ということで、今までの「祭コミュニティ」のような蒲郡市独自のコミュニティが薄れ、維持していくことが困難になることも考えられます。
(2) 活動内容の案	活動①：地場産業ソーシャルマーケティングの意識調査 内容： 「協働のまちづくり」の意識調査を主婦及び子どもをターゲットに行い、その意識調査を分析する。 まちづくりを知らない主婦や子どもでも理解できるように地場産業を用いたアンケートの作成を行い、調査対象を決め、調査を行う。 アンケート調査、ヒアリング等を予定している。 活動②：地場産業ソーシャルマーケティング勉強会 内容： ①であげられ、分析された意見を意識調査対象者を中心に、専門家を交えて勉強会を開催する。 勉強会の内容は、地場産業を例にあげ、商品開発のワークショップや市場開拓のワークショップを行い、新しいアイデアを拾い上げる。

	活動③：地場産業ソーシャルマーケティングイベント 内容： ②であげられた意見を基に、地場産業にちなんだイベントを企画。ワークショップ等の意見が基本ですが、親子で参加する干物アイデアコンテストや漁港の絵、干物の絵コンテスト、新しい練り物発掘等、主婦と子どもが企画したイベントを地域向けに行うことで、地場産業の意識、愛着を高める働きかけを行う。
応募団体名	特定非営利活動法人 楽笑
リンク	http://www.rakusho.info/
部局／担当者名	理事長 小田 泰久
連絡先	0533-66-0291
推薦市町村名	愛知県蒲郡市